

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164070	担い手育成支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		42,242	53,411		11,169
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	25,241	33,868		8,627
	地方債	0	0		0
	その他	12,000	15,300		3,300
	一般財源	5,001	4,243		-758

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返	期間限定	～
------	---	-------	------	---

部重点施策における目標
農業の担い手の育成を進める

事業開始の背景・経緯
農業者の高齢化、担い手不足の状況の中で、農業の持続発展を図るためには、集落を基本とした営農組織や意欲ある担い手を育成確保する必要があることから、経営指導体制を構築するとともに各種支援策を導入した。

事業概要
<ul style="list-style-type: none"> <li>○担い手農業者等法人化支援事業 200千円</li> <li>○認定農業者協議会負担金 1,116千円</li> <li>○担い手支援アドバイザー事業 8,000千円</li> <li>○農業次世代人材投資事業 33,823千円</li> <li>○花巻版農業女子プロジェクト事業 2,371千円</li> <li>○新規就農者支援事業 7,901千円</li> <li>○経営継承・発展等支援事業 0千円</li> </ul>

担当部署	13100000 農林部 農政	担当課長	菊池 正彦
------	-----------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細1
担い手育成支援事業 53,411千円
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 担い手農業者等法人化支援事業 200千円              農業経営法人化支援事業（国庫事業：H30から市での予算措置の必要なし）の補助対象とならない一戸一法人等の設立に対し、20万円を交付する。（市単独事業） 1経営体×200千円=200千円              ①事業実績              株式会社宇津宮果樹園 200,000円</li> <li>2. 花巻市認定農業者協議会負担金 1,116千円              認定農業者や認定農業者を目指す農業者によって構成された組織。研修会等を実施し会員の農業経営能力の向上を図る。              花巻市補助金・負担金の交付基準2を準用              補助対象経費を協議会の運営に関する事務費、会議費、研修費、広報費等とし1/2以内とする。              ※補助対象経費から飲食は除く</li> <li>3. 担い手支援アドバイザー事業 8,000千円              担い手支援アドバイザー（4名）を配置。事業費は市とJAが1/2ずつ負担。              ○担い手支援アドバイザーの主な業務             <ul style="list-style-type: none"> <li>・集落営農組織のない地域への組織化の支援</li> <li>・組織担い手に対する法人化への誘導</li> <li>・個人担い手に対する認定農業者への誘導</li> <li>・認定農業者の農業経営改善計画の目標達成支援</li> <li>・組織担い手及び個人担い手に対する各種制度への加入促進等</li> </ul> </li> <li>4. 農業次世代人材投資事業 33,823千円             <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 事務推進費 180,000円（消耗品、コピー代、電話代）</li> <li>(2) 農業次世代人材投資資金 15,418,132円                  ※R3までの認定者に対する継続分                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①個人 1,500,000円 × 4経営体 = 6,000,000円</li> <li>1,200,000円 × 1経営体 = 1,200,000円 (R3認定者で、経営開始4年目以降)</li> <li>343,132円 × 1経営体 = 343,132円 (前年度所得による変動)</li> <li>②夫婦 2,250,000円 × 3経営体 = 6,750,000円</li> <li>1,125,000円 × 1経営体 = 1,125,000円 (上期のみ)</li> </ul> </li> <li>(3) 経営開始資金 10,500,000円                  ※R4新規分                 <ul style="list-style-type: none"> <li>①個人 1,500,000円 × 4経営体 = 6,000,000円</li> <li>②夫婦 2,250,000円 × 2経営体 = 4,500,000円</li> </ul> </li> <li>(4) 経営発展支援事業 7,725,000円                  ※R4新規就農者への機械導入等の設備投資に対する補助                  計3経営体 管理機、ハウス自動換気装置、トラクター等 7,725,000円</li> </ol> </li> </ol>

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164070	担い手育成支援事業費

事業手法の詳細 2

5. 花巻版農業女子プロジェクト事業 2,371千円  
女性農業者を中心に結成されたグループが実施する事業への支援。
  - (1) アドバイザー報酬(1名) 2,371,268円  
報酬 1,843,870円、通勤手当 48,621円、期末手当 157,132円、共済費 321,645円
  - (2) 農業女子プロジェクト活動内容
    - ①県内マルシェ等へ出店  
女性農業者が生産した農産物を県内で販売。
    - ②異業種交流事業  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止。
    - ③講習会の開催  
「農花アグリヴィリーノ」の会員が講師となり、他会員に活動を周知。
    - ④研修会の開催  
新型コロナウイルス感染拡大のため中止。
6. 新規就農者支援事業 7,901千円
  - (1) 広報費 200,000円  
東京で行われる新・農業人フェアに出展し、花巻市の農業をPRする。
    - ①出展料 55,000円 × 2回 = 110,000円
    - ②職員旅費 45,000円 × 2人 = 90,000円
  - (2) 就農支援 5,686,565円  
市内に住所を有する者で新たに農業経営を開始する個人又は団体(法人を除く)を補助対象としている。ただし、親元就農は事業の対象としない。
    - ①初期費用補助 計7経営体 5,411,975円  
農業経営を開始する際に必要な機械・資材等購入に対しての初期費用補助(上限800千円)
    - ②農地の賃借料補助 計7経営体 274,590円  
経費負担の軽減を図るため、圃場の賃借料を補助(10千円/10a、最大50aまで)
  - (3) 農業研修支援事業 2,014,500円  
市内に住所を有する者で新たに農業経営を開始する個人又は団体(法人を除く)を補助対象としている。ただし、親元就農は事業の対象としない。
    - ①家賃補助 計2名 314,500円  
交付期間を2年以内とする上限2万円の家賃補助
    - ②農業研修受入補助 計3名 1,700,000円  
交付期間を2年以内とする月額5万円の受入補助

事業手法の詳細 3

7. 経営継承・発展等支援事業 0円(実績なし)
  - (1) 事業の概要  
農業者の一層の高齢化と減少が急速に進むことが見込まれる中、将来にわたって地域の農地利用等を担う経営体を確保するため、国と地方が一体となって、将来の農地利用ビジョンを含む「人・農地プラン」に位置付けられた経営体等の経営を継承し発展させる取り組みを支援する。
  - (2) 補助対象者・要件  
中心経営体等である先代事業者(個人事業主または法人の代表者)からその経営に関する主宰権の移譲を受けた後継者(親子、第三者など先代事業者との関係は問わない)であって、おもに以下の要件を満たした者
    - ・経営発展計画を策定している
    - ・後継者の名義で税務申告を行っている
    - ・青色申告者である
    - ・家族経営協定を締結している
    - ・農業次世代人材投資資金の交付を受けていない
  - (3) 補助率等  
1/2(補助上限1,000千円)
  - (4) 補助対象経費  
経営継承に関する専門家謝金、専門家旅費、研修費、旅費、機械装置等費、広報費、展示会等出店費、開発・取得費、雑役務費、設備処分費、委託費または外注費
  - (5) 事業内容  
1経営体事業申請するも不採択により実績なし

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164080	農地有効活用事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		33,490	27,959		-5,531
財 源 内 訳	国費	0	0		0
	県費	20,128	16,294		-3,834
	地方債	0	0		0
	その他	2,758	2,442		-316
	一般財源	10,604	9,223		-1,381

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標	農業の担い手の育成を進める
-------------	---------------

事業開始の背景・経緯	農業の担い手の確保、育成を図るため、担う手への農地集積・集約化を推進し農業経営を安定させる必要がある。そのため、平成26年度から制度開始となった農地中間管理事業の実施や、(一社)花巻農業振興公社への支援を行うこととなった。
------------	---

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>○機構集積協力金 16,294千円 農地中間管理機構を通じて農地を一定以上貸し付けた地域や、機構に農地を貸し付けることにより経営転換又はりタイアした農業者等に協力金を交付</li> <li>○農地中間管理事業受託費 2,442千円 農地中間管理機構が行う担い手への農地集積を目的とした業務の一部を受託</li> <li>○特定地域農地流動化交付金 750千円 中山間地域等の借受希望者が少ない地域の農地を借り受けた農業者へ交付金を交付</li> <li>○花巻農業振興公社負担金 7,810千円 農地中間管理機構と連携した農地の利用調整事業等に係る経費を負担</li> <li>○農地集約化推進事業 663千円 農地の地理的な集約化について話し合うことができる場を設定する等、集約化を進めやすい環境の整備</li> </ul>
------	--

担当部署	13150000 農林部 地域農業	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況	
-----------	--

事業手法の詳細1	
----------	--

1. 機構集積協力金交付事業 16,294,000円 (R3: 20,127,700円 前年度比: △3,833,700円)

(1) 機構集積協力金 16,294,000円  
 ① 地域集積協力金 15,526,000円 (交付対象地域: 24地域 交付対象面積: 8,089a)  
 【概要】機構の活用割合に応じて、「地域」に対して交付  
 【交付単価】

機構の活用率	一般地域	中山間地域	交付単価
20%超40%以下	4%超15%以下	1.0万円/10a	
40%超70%以下	15%超30%以下	1.6万円/10a	
70%超	30%超50%以下	2.2万円/10a	
—	50%超	2.8万円/10a	

【R3 実績】10,564,200円 (交付対象地域: 9地域 地域交付対象面積: 5,769a)

② 経営転換協力金 768,000円 (交付対象者: 11名 交付対象面積: 902a)  
 【概要】離農または部門減少等により、担い手への農地集積に協力した農業者等へ交付  
 【交付単価】1.0万円/10a  
 【R3 実績】9,363,500円 (交付対象者: 56名 交付対象面積: 6,343a)

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164080	農地有効活用事業費

事業手法の詳細 2
<p>2. 農地中間管理事業受託費 2,441,606円 (R3:2,758,352円 前年度比:△316,746円)</p> <p>【概要】農地中間管理機構が行う業務の一部(事業の推進、農用地利用配分計画案の作成等)を市、(一社)花巻農業振興公社にて受託。</p> <p>【内訳】需用費:2,049,508円 役務費:139,150円 借上料:252,948円</p> <p>3. 特定地域農地流動化交付金 750,000円 (R3:3,900,000円 前年度比:△3,150,000円)</p> <p>【交付対象者・交付対象面積】9名 375a</p> <p>【概要】中山間地域等の借受希望者が少ない地域の農地を借り受けた農業者等へ交付</p> <p>【交付単価】20千円/10a</p> <p>【R3実績】3,900,000円(交付対象者:19名 交付対象面積:1,950a)</p> <p>4. 花巻農業振興公社負担金 7,810,000円 (R3:6,041,400円 前年度比:+1,768,600円)</p> <p>農地中間管理事業を担う(一社)花巻農業振興公社の運営を支援する。</p> <p>5. 農地集約化推進事業663,000円 (R3:663,000円 前年度比:0円)</p> <p>【概要】担い手への農地集積・集約化を加速し、農業の生産性を高め競争力を強化していくため、担い手同士が農地の地理的な集約化について話し合うことができる場を設定するなど、農地の地理的な集約化を進めやすい環境を整える。</p>

事業手法の詳細 3

令和4年度  
事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164350	農業法人等支援事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		495	0		- 495
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	0	0		0
	一般財源	495	0		- 495

特定財源の内訳

--	--	--	--	--	--

事業期間		単年度繰返	<input type="radio"/>	期間限定	令和2年度 ~ 令和5年度
------	--	-------	-----------------------	------	---------------

部重点施策における目標

農業の担い手の育成を進める

事業開始の背景・経緯

労働力確保をはじめとした市内農業法人等が抱える課題を解決し、法人経営の安定化・充実化を図る必要がある。そのために個別カルテを作成し課題の整理を行い、関係機関と情報共有しながら法人設立後の課題解決に向けた新たな支援策の検討等を進める必要がある。

事業概要

○ 新・農業人フェア等への出展に対する支援 0千円 (中止)  
市内農業法人等の労働力確保、PRのための新農業人フェア等への出展に対する支援

担当部署	13150000 農林部 地域農業	担当課長	菊池 正彦
------	-------------------	------	-------

意見・要望等の状況

--

事業手法の詳細 1

農業法人等支援事業 R4 0円 (R3: 495,000円 前年度比: △495,000円)

1 各種フェア等への出展に対する支援 0円 (費用弁償) (中止)

【概要】  
雇用就農を検討している市内農業法人等と首都圏等で開催される新・農業人フェア等へ出展する際の旅費等に対する支援。  
⇒新型コロナウイルス感染症拡大により、1ブースあたりの人数制限が設けられたため、市内農業法人のフェアへの出展を取りやめた(市担当職員に限定した出展)。

【令和4年度新・農業人フェア出展実績】  
・令和4年7月22日 新・農業人フェア2022 (東京)  
・令和5年1月14日 新・農業人フェア2022 (東京)

令和4年度

事業説明資料

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	06	01	03	164430	大迫地域ぶどう産業振興事業費

単位: 千円

		前年度 決算額	当該年度 決算額	次年度 現計予算額	決算額 前年比
事業費		8,484	8,693		209
財源内訳	国費	0	0		0
	県費	0	0		0
	地方債	0	0		0
	その他	8,000	7,800		-200
	一般財源	484	893		409

特定財源の内訳					

事業期間	○	単年度繰返		期間限定	～
------	---	-------	--	------	---

部重点施策における目標
-------------

担い手・新規就農者の育成支援
----------------

事業開始の背景・経緯
------------

ぶどう農家の高齢化や後継者不足のなか、地域の基幹産業であるぶどう産業の維持発展を図るため、新規就農者の受け入れ態勢の整備と、大迫ぶどう産業振興ビジョンを推進するための事業経費を計上する。
---

事業概要
------

○葡萄が丘農業研究所長及び新規就農者技術指導員の配置 6,314千円
○葡萄が丘研究所維持費 298千円
○ぶどう園地管理耕作事業補助金 107千円
○醸造用ぶどう垣根等改修事業補助金 なし
○大迫ぶどう産業振興協議会負担金 1,974千円

担当部署	22130000 大迫支所 大地(農林)	担当課長	高橋 哲也
------	----------------------	------	-------

意見・要望等の状況

事業手法の詳細 1
-----------

- 葡萄が丘農業研究所長及び新規就農者技術指導員 6,314千円  
 葡萄が丘農業研究所長  
 農業生産に関する試験研究等を行い、農業者の生産技術の向上及び所得の増大を図り、市民等の生活の安定に役立てるため、葡萄が丘農業研究所長を配置。  
 勤務場所：葡萄が丘農業研究所 勤務体系：週4日、1日7.5時間  
  
 新規就農者技術指導員  
 市内全域の新たな担い手となる多様な新規就農者に対する技術指導と情報提供を行うため新規就農者技術指導員設置要綱に基づき配置する。  
 勤務場所：葡萄が丘農業研究所 勤務体系：週5日、1日6時間
- 葡萄が丘農業研究所維持経費 298千円  
 事務消耗品等94千円、公用車リース料204千円
- 花巻市ぶどう園地管理耕作事業補助金 107千円  
 高齢化や担い手がいないぶどう農家において、ぶどう栽培を継続できない園地の栽培管理を委託し、管理耕作する経費に対し補助金を交付する。  
 【実績】R2：0件 R3：1件 R4：1件（対象面積36a）
- 大迫ぶどう産業振興協議会負担金 1,974千円  
 大迫地域の目指す姿を示した「大迫ぶどう産業振興ビジョン」（平成29年3月完成）を実現するため、関係機関と連携・協働しながら事業を推進する協議会への負担金補助。  
 令和4年度協議会事業費 2,744千円
- 醸造用ぶどう垣根等改修事業補助金（実績なし）  
 ワインの原料となる醸造用ぶどうを安定的に確保するため、老朽化した垣根施設等の小規模改修に係る経費に対し補助金を交付する。  
 令和2年度(実績) 改修等面積 382 a 事業費16,921千円×1/2≒補助額 8,460千円  
 令和3年度(実績) 新設等面積 12 a 事業費 1,512千円×1/2≒補助額 756千円  
 令和4年度(実績) なし